2026年度 和泉短期大学 シラバス【児童福祉学科】

授業科目名 科目ナンバー	パイプオルガン入門 I-3-5-1	教員氏名	石井　三枝子	
学年	2年	開講学期	前期	
授業形態	講義	単位数	2単位	
必修・選択	選択	実務経験		
テーマ	パイプオルガンの仕組みを学び、パイプオルガンに触れる			
ディプロマ ポリシー	1.保育・福祉に関する基礎的な学修を通して、幅広い教養を身に付け、多様な人々を支える社会の理念・仕組みについての原理を理解している。			○
	2.保育・福祉の専門的な知識・技能を修得し、思考力、判断力、表現力、コミュニケーション力を身に付けている。			
	3.保育・福祉の専門職として多世代にわたる人々の権利を護り、愛と奉仕の精神を実践できる。			
カリキュラム ポリシー	科目群Ⅰ 教養	キリスト教主義の精神を踏まえて、保育と人権にかかわる人としての価値観を再構築する		○
	科目群Ⅱ 原理	様々な世代を支える社会の理念・仕組みについての学びを通して、愛と奉仕に基づく人間観を養う		
	科目群Ⅲ 知識・技能	子どもの心と体とそれを取り巻く環境を知り、共に成長するための様々な支援の内容と方法に関する専門的な知識と技能を身につける		
	科目群Ⅳ 実践	学んだ知識、技能、価値観を現場に即して臨機応変に実践できる体験を積み、キャリア形成の基礎を培う		
授業の概要	パイプオルガンの仕組みを学び、パイプオルガンに触れる仕組みや歴史を学び、讃美歌や簡単な手鍵盤のみの楽曲を弾きながら、オルガン奏法の初歩を学ぶ。 授業は、全体の講義と個人レッスンを併用した形で行う。			
授業の 到達目標	・パイプオルガンの仕組みを学び、パイプオルガンに触れる構造・機能を理解すること			
	・やさしい讃美歌や簡単な曲をひけるようになることを目指す。また、キリスト教音楽への関心、理解を深める			
テキスト	授業中にプリントを配布する			
参考書	なし			
往還型授業 （双方向授業）	授業内での疑問や、学びを進める中で生じた不明点を、対話を通じて授業内で明確にする			○
	リアクションペーパーを用いて授業内での疑問等を対話形式にて対応する			
	リアクションペーパーの内容やテーマをICTを用いて授業内で受講者全員に公開・共有し、往還的理解を深める			
	ICT（グーグルクラスルーム含む）を活用した課題提示・回収、アンケート等を実施する			
	その他：　0			

成績評価方法	区分	割合（%）	内容
	定期試験・筆記試験		実施しない
	授業内課題・発表等	60	課題曲の予習・復習への取り組み方
	参加度・学習態度等	40	他の学生のレッスンを含め、授業を静かに聞く態度
	その他		
再試験	行う	行なわない場合の理由	

授業概要と課題			
第1回	テーマ 内容	オリエンテーション　授業内容の説明と予定 パイプオルガンのしくみ①音の出る仕組みを学ぶ	
	授業外学習	オルガンの機能について事後学習する	210分
第2回	テーマ 内容	パイプオルガンの仕組み②音の出る仕組みを学ぶ	
	授業外学習	オルガンの機能について事後学習する	210分
第3回	テーマ 内容	パイプオルガンに触れる①讃美歌を弾きながら、機能の確認をする	
	授業外学習	オルガンの機能について事後学習する	210分
第4回	テーマ 内容	パイプオルガンに触れる②讃美歌を弾きながら、機能を確認する	
	授業外学習	オルガンの機能について事後学習する	210分
第5回	テーマ 内容	パイプオルガンに触れる③讃美歌を弾きながら、機能の確認をする	
	授業外学習	オルガンの機能について事後学習する	210分
第6回	テーマ 内容	讃美歌と楽曲の練習①	
	授業外学習	課題曲の予習（譜読み）する	210分
第7回	テーマ 内容	讃美歌と楽曲の練習②	
	授業外学習	課題曲の復習（練習）をする	210分
第8回	テーマ 内容	讃美歌と楽曲の練習③	
	授業外学習	課題曲の練習（譜読み）と復習（練習）	210分
第9回	テーマ 内容	讃美歌と楽曲の練習④	
	授業外学習	課題曲の予習と復習	210分

第10回	テーマ 内容	讃美歌と楽曲の練習⑤	
	授業外学習	課題曲の予習と復習	210分
第11回	テーマ 内容	讃美歌と楽曲の練習⑥	
	授業外学習	課題曲の予習と復習	210分
第12回	テーマ 内容	讃美歌と楽曲の練習⑦	
	授業外学習	課題曲の仕上げ	210分
第13回	テーマ 内容	讃美歌と楽曲の練習⑧	
	授業外学習	課題曲の仕上げとレポート提出	210分

課題に対するフィードバックの方法
提出課題については、授業内で口頭またはプリントでフィールドバックを行う。課題曲については、発表後に講評を行う。